

県内の少年非行(平成31年1月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、平成30年は確定値、平成31年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

平成31年1月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は147人で前年同期(180人)に比べて33人(18.3パーセント)減少、不良行為少年は935人で、前年同期(1,155人)に比べて220人(19.0パーセント)減少している。

区分	年別	平成31年 1月末	平成30年 1月末	増減		
				人員	率(%)	
非 行 少 年	犯罪少年	68	116	-48	-41.4	
	触法少年	52	36	16	44.4	
	計	120	152	-32	-21.1	
	特別法 犯	犯罪少年	11	10	1	10.0
	触法少年	3	11	-8	-72.7	
	計	14	21	-7	-33.3	
	ぐ犯少年	13	7	6	85.7	
合計	147	180	-33	-18.3		
不良行為少年		935	1,155	-220	-19.0	

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成31年1月末		平成30年1月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)	構成比(%)	人員	率(%)		
刑法犯少年		120	100	152	100	-32	-21.1
凶悪犯							
粗暴犯		31	25.8	17	11.2	14	82.4
窃盗犯		65	54.2	87	57.2	-22	-25.3
知能犯		1	0.8	7	4.6	-6	-85.7
風俗犯		1	0.8	1	0.7		
その他		22	18.3	40	26.3	-18	-45.0
うち占離		11	9.2	13	8.6	-2	-15.4

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成31年1月末		平成30年1月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)	構成比(%)	人員	率(%)		
総数		120	100	152	100	-32	-21.1
未就学							
小学生		29	24.2	15	9.9	14	93.3
中学生		38	31.7	44	28.9	-6	-13.6
高校生		31	25.8	49	32.2	-18	-36.7
その他学生		4	3.3	11	7.2	-7	-63.6
有職		11	9.2	21	13.8	-10	-47.6
無職		7	5.8	12	7.9	-5	-41.7

4 初発型非行の状況

区分	年別	平成31年1月末		平成30年1月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)	構成比(%)	人員	率(%)		
総数		63	100	78	100	-15	-19.2
万引き		37	58.7	37	47.4		
オートバイ盗		3	4.8	7	9.0	-4	-57.1
自転車盗		12	19.0	21	26.9	-9	-42.9
占有離脱物横領		11	17.5	13	16.7	-2	-15.4
刑法犯少年に占める率(%)		52.5	—	51.3	—	1.2	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の12.3パーセント(前年同期比-2.3ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の54.2パーセントを占め、次いで粗暴犯の25.8パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(555人)と深夜はいかい(271人)が全体の88.3パーセントを占めている。